

参院選政策調整や候補者一本化 市民連合、共産党に要請

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合（市民連合）は24日、日本共産党に対し、「参議院選挙に向けて、政策の調整、候補者の一本化など連携を強化し、自公勢力とたたかう体制を早急に作り上げる」ということを要請しました。小池晃書記局長、田村智子政策委員長が応対し、要請書を受け取り意見交換しました。

要請書では、①通常国会で立憲野児の連携を強化し、自公政権と対決し、政策転換を勝ち取る②市民生活の危機が続くことが予測され、万全の対策を求める③参院選に向けて、自公勢力をとたたかう体制を作り上げることを求めていました。

市民連合連絡委員の山口二郎法政大学教授は「ロシアのウクライナ侵略を悪用して、核共有や敵基地攻撃、憲法改正をいう人もいるが、くむべき教訓は、命を軽んじ、うそをつくる政治者をのさばらせておくこと」なることを要請しました。小池晃書記局長、田村智子政策委員長が応対し、要請書を受け取り意見交換しました。

要請書では、①通常国会で立憲野児の連携を強化し、自公政権と対決し、政策転換を勝ち取る②市民生活の危機が続くことが予測され、万全の対策を求める③参院選に向けて、自公勢力をとたたかう体制を作り上げることを求めていました。

山口二郎法政大学教授は「ロシアのウクライナ侵略を悪用して、核共有や敵基地攻撃、憲法改正をいう人もいるが、くむべき教訓は、命を軽んじ、うそをつくる政治者をのさばらせておくこと」なることを要請しました。小池晃書記局長、田村智子政策委員長が応対し、要請書を受け取り意見交換しました。

要請書では、①通常国会で立憲野児の連携を強化し、自公政権と対決し、政策転換を勝ち取る②市民生活の危機が続くことが予測され、万全の対策を求める③参院選に向けて、自公勢力をとたたかう体制を作り上げることを求めていました。

要請書では、①通常国会で立憲野児の連携を強化し、自公政権と対決し、政策転換を勝ち取る②市民生活の危機が続くことが予測され、万全の対策を求める③参院選に向けて、自公勢力をとたたかう体制を作り上げることを求めていました。



市民連合（右側）の山口二郎氏（中央）から要請を受ける小池晃書記局長（その左）ら党議員団=24日、衆院第2議員会館